

きよせ 市議会だより

令和7年（2025年）

5月15日

No.245



発行 清瀬市議会

清瀬市中里5-842

TEL (042) 492-5111 (代) FAX (042) 495-1189

清瀬市ホームページ <https://www.city.kiyose.lg.jp/>



CONTENTS

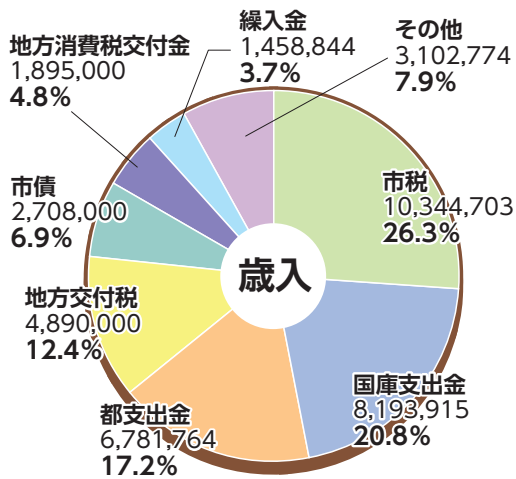
- 02…令和7年 第1回定例会
令和7年度一般会計予算を可決
- 03…第1回定例会 可決・承認・同意した主な議案
- 04…令和7年度一般会計予算討論要旨
- 05…「市政を問う」代表・一般質問（要旨）
- 15…提出された議案等の結果
- 16…市議会日誌、第2回定例会の開会予定
用語の解説



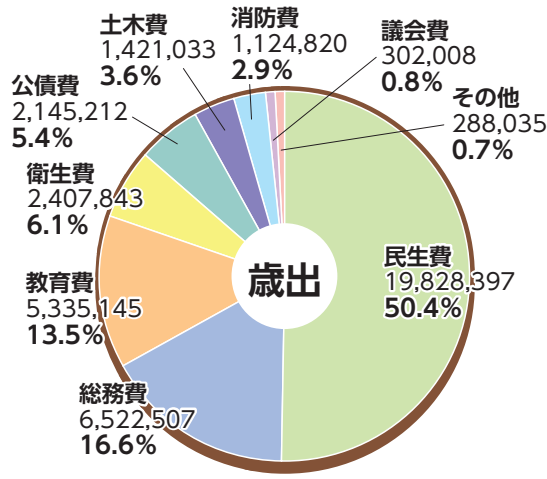
令和7年2月6日に行われた立科町議会との議員交流研修会の様子



一般会計歳入歳出予算構成表 (単位：千円)



歳入総額 39,375,000 千円



歳出総額 39,375,000 千円

令和7年度
第1回
定例会

賛成多数で

令和7年度一般会計予算



令和7年度一般会計予算は、歳入歳出の総額をそれぞれ393億7千500万円（前年度比で49億8千300万円率で14・5%の増）としています。

歳入では、市税は、雇用・所得環境の改善及び定額減税の減などにより個人市民税の増収が見込まれるため、全体では前年度より7億8千419万円増の103億4千470万円となっています。また、国庫支出金は、児童手当等事業や自立支援給付費の増、新設保育園の整備による増などにより、前年度比22・2%増の81億9千391万円となっています。

令和7年度一般会計 予算のポイント



令和7年度清瀬市議会第1回定例会は、2月27日（木）から3月27日（木）までの29日間の会期で開かれました。

今定例会では、令和7年度清瀬市一般会計予算及び下水道事業会計予算並びに国民健康保険事業、駐車場事業、介護保険、後期高齢者医療の各特別会計予算などの市長提出議案23件、議員提出議案6件、陳情3件を審議し、2件の報告を受けました。

なお、一般会計予算については定例会初日に予算特別委員会を設置し、全議員を委員に選出、委員長に星野玲子議員、副委員長にやつだこうじ議員を選出しました。

下水道事業会計予算及び各特別会計予算は所管の常任委員会において審査を行い、定例会最終日に委員長の審査報告を受け採決を行った結果、いずれも可決されました。

提出された議案等の審議結果は、15ページに掲載しています。

令和7年度は「第4次清瀬市長期総合計画」の10年目となり、基本構想に掲げる「10年後の姿」が達成されているかどうか、効果検証を実施し、各種施策のより効果的な展開及び次期計画への総括が求められる年となり、主な歳出は次のとおりです。

※（ ）内は予算額

将来像1…安全でうるおいのある暮らしができるまち

●防災体制の充実・強化

- ・女性や要配慮者等の備蓄品の整備（300万円）
- ・地場産農産物を使用した防災備蓄食料「レトルトカレーの製作」（230万円）

●市民活動の支援

- ・竹丘多世代交流施設建設工事（9千300万円）

●生涯学習活動の支援

- ・図書館資料宅配サービスの開始（1億円）

将来像2…健康でともに支え合うまち

●高齢者の支援

- ・デジタルデバイス対策事業（「デジタルデバイス解消や健康増進を目的に、スマホ講座やスマホサロンを中心とした地域のつながりやコミュニティ促進を継続的に図る仕組みづくりを行う」（9千957万4千円）

●健康づくりの支援

- ・がん検診推進事業（「胃がん検診について、50歳以上の方を対象に胃内視鏡検査を開始する」（3千971万7千円）

将来像3…子どもたちを健やかに育むまち

●母子の健康づくりの支援

・産後ケア事業の拡充〔産後ケア事業について、シヨートステイ〔宿泊〕型・デイサービス〔通所〕型を導入し、アウトリーチ〔訪問〕型を産後半年までから産後1年までに拡充する〕（2千740万8千円）

●子育ての支援

・子ども食堂推進事業補助金〔配食・宅食に対する支援の他、備品整備費助成を追加〕（720万円）

●「生きる力」「考える力」を育む学校教育

・小・中学校改造事業〔小学校受変電設備改修工事及び体育館大規模改造工事〕〔中学校空調設備等改修工事〕（7億3千339万8千円）
・情報教育推進事業〔2nd GIGA端末の導入〕（4億4千358万4千円）

●青少年の健全育成

・南部地域児童館等複合施設整備事業（14億9千211万円）

将来像4…豊かな自然と調和した住みやすく活気あるまち

●道路ネットワークと交通環境の整備

・秋津駅8号踏切付近道路拡幅整備事業〔測量及び平面交差点予備設計等業務委託など〕（2千930万4千円）

●公園の整備

・神山公園既存遊具の撤去・複合遊具〔インクルーシブ遊具〕の新設工事（1千380万円）

将来像5…都市格が高いまち

●経営資源を戦略的に配分

・市制施行55周年記念事業〔記念映画、市勢要覧制

作等〕（1千355万8千円）

令和7年 第1回定例会 可決・承認・同意した主な議案

▼令和6年度清瀬市一般会計補正予算（第10号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ7億8千191万円を追加し、歳入歳出予算の総額はそれぞれ396億2千91万3千円となりました。

歳入の主なもの

- ① 地方交付税では、国の増額補正予算により再算定された結果、当初交付額との差額として3億4千979万8千円の増額です。
- ② 市債では、都市計画街路用地購入事業の財源として3億7千500万円の増額です。

歳出の主なもの

- ① 民生費では、自立支援給付費及び生活保護費の増額補正、公定価格引き上げなどに伴う私立保育園等運営事業の増額補正など、2億3千866万4千円の増額です。
- ② 土木費では、特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業において、今年度の改修等の見込みがなくなったことから減額する一方、都市計画街路事業で用地購入のため増額し、全体で6億5千702万4千円の増額です。

▼清瀬市住環境の整備に関する条例の一部を改正する条例

都市計画法及び都市計画法施行令の規定に基づき宅地開発行為における公園等の整備の基準を緩和するため、条例の一部を改正するものです。主な改正内容は、公園等を設置しなければならない開発区域の面積の最低限度を3千㎡未満から1万㎡未満に緩

和します。

この条例の施行日は、令和7年7月1日です。

▼清瀬市道の路線の廃止について

廃止の理由 清柳橋架替え工事に伴い、市道の路線を廃止する。

廃止路線名（位置）

- 清瀬市道0104号線
- （下宿三丁目 清瀬水再生センター西側）
- 清瀬市道1002号線
- （下宿三丁目 清瀬水再生センター西側）
- 清瀬市道1047号線
- （下宿三丁目 清瀬水再生センター西側）

▼清瀬市副市長の選任について

副市長に次の方を選任する議案が市長から提出され、議会はこれに同意しました。

今村 広司氏

▼清瀬市教育委員会教育長の任命について

教育委員会教育長に次の方を任命する議案が市長より提出され、議会はこれに同意しました。

坂田 篤氏

▼清瀬市教育委員会委員の任命について

教育委員会委員に次の方を任命する議案が市長より提出され、議会はこれに同意しました。

鈴木 美紀氏

▼清瀬市固定資産評価審査委員会委員の選任について

固定資産評価審査委員会委員に次の方を選任する議案が市長より提出され、議会はこれに同意しました。

小池 良氏

▼人権擁護委員の推薦について

人権擁護委員法に基づく人権擁護委員候補者として、次の方を法務大臣へ推薦する議案が市長より提出され、議会はこれに同意しました。

池田 厚子氏

反対討論 日本共産党

新年度予算では学校給食費無償化の継続や災害対策、がん検診拡充など前進を歓迎します。一方生鮮品などの深刻な物価高対策は乏しく、あらゆる面で市民負担の軽減を図る努力が必要です。予算の0.6%を組み替えれば暮らしの支援が可能だと提案しました。前向きな検討を要望します。鉄道車両「夢空間」は不要不急の事業であり見直しを求めます。

次期長期総合計画の検討は徹底した市民参画を求めます。評価の高い自然環境維持、高齢化や気候危機、災害対策など課題を共有し、まちづくりの方向性を決めるべきです。地域図書館廃止では市民参画が抜け落ちました。まちづくり基本条例の遵守を強く求めます。

市民の人権を支える市職員が健康に働けるよう第三者相談機関やハラスメント対策を求めます。市立図書館への指定管理者導入に反対します。

賛成討論 清瀬自民クラブ

持続可能な財政運営をする中、選ばれるまちを念頭に令和7年度予算は、市長4年目の集大成であり、大いに評価いたします。

「暮らし」P無線機、地場産農産物を使用した防災備蓄食、トイレカー「支え合い」デジタルデバイス対策やがん検診推進。

「人づくり」妊婦支援金の給付、セカンドギガ端末、新校に向けた設計。

反対討論 共に生きる

「給食費無償化」の実現は歓迎します。この物価高の中で、給食の質と量が問われてきています。安全な地場野菜を学校給食用に供給するために、低農薬、無農薬野菜の取り組みを要望します。市長の所信表明「SDGs未来都市」の責務として、(中略)有機質肥料利用促進事業を開始いたします」に期待します。

高度経済成長期に整備された水道施設の老朽化や自治体の財政状況を背景に、下水道事業をめぐって官民連携や包括的民間委託方式導入の動きが見られます。コスト削減や効率化のメリットが期待されますが、環境への影響や料金の値上げなどの問題が懸念されます。

図書館の大幅削減も、無視できません。本市の市民は近隣の図書館を利用していますが、他市の市民は新たに実施される宅配サービスの対象外です。これは他市も関係する偏狭な制度です。

賛成討論 公明党

令和7年度は、市政55周年の佳節と言うだけでなく、令和8年度から始まる10年間の将来像を描く長期総合計画策定の年です。依然として厳しい財政情勢ですが、澁谷市長が前例にとられない改善の視点を持つて示されたように徹底した事務事業の見直し、シティプロモーションの推進を掲げ少子高齢化、人口減少社会に対応すべく予算編成に臨まれていると感じます。

清瀬駅北口と南口駅前広場開発の未来構想ビジョン、秋津駅8号踏切付近の道路拡幅整備などは、交流人口を増加させるに資する創出するに欠かさない事業です。その他一つの事業に言及しませんが、公明党が提案要望した内容が反映されており評価します。市民が清瀬に住んで良かったと思えるように市民協働でありながらも未来を見据えた施策展開を要望し賛成討論とします。

賛成討論 風・立憲・ネット

給食費無償化、産後ケア充実などあり賛成するが、財政調整基金が5億円を切る危機的状況だ。一方、本市で文化財保存の必要性が不明な2億円超が予定、以下求める。

職員欠員のOJTや昇進意欲影響・特定部署負担の削減、法務職採用過程や使途の統制検証。緑地目的遺贈の収益区分管理。地域センター再構築に利用者の声反映。子どもの居場所運営に子どもも参加。20歳応援事業は晴れ着推奨との誤解払拭。就職氷河期世代支援は工パワメントを。子ども意見聴取の全庁共有。養育費確保支援推進。ニンニンアプリ参加事業者増。駅前出初式の進行公表。食費上昇も給食の質維持。先駆的性教育を全中学校に。司書配置とサロン。学校の図書充実、学校図書館の地域開放、宅配の再配達防止。都認証学童実現の都予算要望。不登校含む地域活動連携。ポッチャ参加機会増。

賛成討論 無所属の会

市民意識が微妙に変化しているのではないかと感じます。3年に一度の市政世論調査では、「今後も清瀬に住み続けたい」と思う人が減っている。住みたくないと言った理由の第一は「商業施設が少ないから」というものだ。清瀬に限ったことではないと思うが、自分が暮らす街に対する評価基準が変わりつつあるようだ。コミュニティとして人間関係を動かしやすくなるのではと危惧している。

市政を問う



本会議の進行を務める
森田正英議長

代表・一般質問 要旨

代表質問：各会派の代表が、市長の所信表明に対し代表質問を行う。あわせて一般質問も行うことができる。
一般質問：議長を除く議員が行政全般にわたり、事務の執行状況、方針等に対し質問することができる。



公明党 代表質問

鈴木 たかし

中央公園エリアを 都立公園に

問 いよいよ中央公園も「夢空間」と限研吾氏設計の複合施設と合わせて来年春には完成となります。今後、中央公園、看護大、リハビリテーション学院跡地、アカマツ林まで含めた地域一帯を、清瀬市初の都立公園として、都に対し要望していったほうがでしょうか。

答 東京都は「未来の東京」戦略ビジョンを踏まえ、令和11年度までの「都市計画公園・緑地の整備方針」を策定しています。本市でも令和8年度からの第5次清瀬市長期総合計画の策定に向けて、公園の機能を最大限活かした施策形成を図れるよう検討していきます。

清瀬市に道の駅を

問 東3・4・15の2号線の開通も見えてきました。将来、都内まで一本で繋がるこの道が完成した際には、清瀬市は埼玉県と東京都を結ぶ交通の要衝となります。そこでその沿線に道の駅を計画してはいかがでしょうか。

答 東3・4・15の2号線は都道であり、道の駅を設置するためには設置費用だけでなく、維持管理についても本市が単独で行うことになります。現状では大きな財政負担が生じることから難しい状況ですが、現在策定中である第5次長期総合計画の中で調査研究を進めます。

「夢空間」を使ったご当地 ナンバーを

問 原付バイクのナンバーは、市による交付のためオリジナルナンバープレートが作れます。ここ最近、「夢空間」など清瀬市としても象徴的なシテンプロモーション素材が生み出されています。そこでそれらを利用したご当地ナンバーを作ってはいかがでしょうか。

答 ご当地ナンバーをつけた原付バイク等が走ることで、清瀬の名称やイメージが広まり、シテンプロモーションの向上や住民の地域への愛着・誇りを高める効果もあると考えます。本市の特徴を表すようなご当地ナンバーのデザインや制作手法等について研究していきたいと考えます。



日本共産党 代表質問

原田 ひろみ

所信表明を受けて 市民参画の徹底を

問 所信表明では「にぎわいを創出し選ばれるまち」に向けて市民の取り組みの必要性に言及がありますが、その創出にもつながる豊かで多様な市民活動や取り組みが、公共施設の統廃合や使用料値上げ等で逆に失われていないか懸念します。

また 地域図書館の廃止や鉄道車両「夢空間」設置など市民の意見は十分に反映できていません。図書館を巡り住民投票を求める動きにもなりましたが、望まれているのは市民参画の徹底です。見解を伺います。

答 市の行う重要施策については、市民ワークショップや検討委員会など、様々な場面を通じて市民の声を反映する機会を捉えてきたと考えています。今後も積極的に市民参画によるまちづくりを進めていきます。

物価高騰で困難が広がる 市民生活への支援を

問 物価高騰が止まりません。あらゆる面で市民負担の軽減が必要であり、新年度予算での対策は残念ながらいいと指摘せざるを得ません。子ども

もの国保税減免やごみ袋の減免拡大など支援策の拡充を求めます。

答 国保税については、所得に応じた金額設定をしています。また、ごみ袋については、生活保護世帯やひとり親家庭、東日本大震災による避難世帯等に対し減免を行っており、令和2年4月からは、一定の認定を受けている障害者の方がいる非課税世帯に対しても減免を追加しました。

元町こども図書館 図書館設置条例に明記を

問 元町こども図書館が「当面の間」存続となり、歓迎されています。市は規則で対応すると言いますが、職員を配置し予算も措置する以上、図書館設置条例に位置づけるべきです。

答 元町こども図書館は図書館運営規則の中で、図書館附属施設として位置づけていきます。改正図書館条例は、社会の変化を踏まえた本の宅配サービス等、図書館の新しいサービスの実施環境を整備することを意図しています。改めて改正することは考えていません。



風・立憲・ネット 代表質問

小西 みか

豪華列車を公園に設置する 目的の十分な説明を

問 交流人口や関係人口を増やすことが、人口減少対策に有効という考えに基づき、中央公園に「夢空間」という列車を設置することだが、そもそも交流人口や関係人口が人口減少対策につながるのか。その関係性の説明を求める。

答 住んでみたいと思われる魅力のあるまちにするためには、まず清瀬市を知ってもらい、訪れてもらうことが必要だと考えます。観光などで訪れる交流人口や、継続的に多様な形で関わる関係人口を増やしていくことで地域が活性化し、定住人口の増加にもつながっていくと考えます。

質の高い条例案作成に 資する意見募集手続きを

問 議会でも審議される条例等に関し、事前にパブリックコメント手続で市民意見を募集することは、議会審議の参考となる質の高い原案を作成しその作成過程を透明にするために行うものであり、代表民主制を否定するものではないと明確に示している自治体もあるが、本市の見解を伺う。

答 パブリックコメントは、計画案等の制定過程で広く市民の皆さまから意見を収集し、その意見を反映させる市民参画の一つの手法として実施しています。その重要性を認識し、より実効性の伴うパブリックコメント実施に向けて、全庁的に努めていきたいと考えています。

ひとりひとりに合った支援 を地域の学校で進める

問 障がいがあっても地域の学校に誰もが通い、通常級の中でも支援を受けながら過ごすという考え方を基本に、インクルーシブ教育を進める必要があると考える。そのためには、就学支援シートなどが丁寧に小学校に渡されれば、通常級での受け入れをもっと進めていけると考えるが、就学相談の役割について伺う。

答 特別な支援を必要とする児童・生徒に適切な教育を行うために、就学、転学および特別支援教室への通室の相談などの就学相談を実施しています。また、学校生活支援シートの作成にあたっては、就学支援シートを参考にしており、特性等に応じた継続した支援が展開されています。



清瀬自民クラブ 代表質問

清水 ひろなが

所信表明、市政について

問市長は今まで、選ばれるまちづくりということで、清瀬市の魅力の発信をしてきました。新しいアイデアや革新的な取り組みは、地域の活性化において非常に重要です。長期的な視野で持続可能な発展に繋がる新年度の政策について伺います。

答長期的には清瀬駅周辺の再整備の推進が必要だと考えています。北口、南口がそれぞれ抱える課題を解消し、さらなる機能強化やにぎわいの創出、安全・安心な交通環境の確保を図ることが重要です。駅舎の改修やエスカレーター設置、駅周辺の再整備などについて取り組みを進めます。

安全安心に暮らせるまちに

問能登半島地震の被災地では、断水や停電が続きトイレ不足が問題となる中、タンクで給水できる水洗トイレを備えたトイレカーが各地から派遣され、活用されました。清瀬市でもトイレカーが確保されました。トイレカーの仕様と運用面について伺います。

答普通自動車免許で運転可能な小型トイレカーですが、入り口が別々の大便器を備える二つの個室を有し、約140人分がためられる便槽を有していると同っています。災害時は、水洗トイレが使用できない状況の避難者数が最も多い避難所に設置することを予定しています。

にぎわいを創出し選ばれるまちに

問中央公園の整備工事が始まっています。ダイニングカーとラウンジカーの鉄道車両、2両の「夢空間」が設置されました。「夢空間」の活用方法について、「夢空間」保存活用検討委員会で活用計画が策定されていると思いますが、どのようなにぎわいの創出となるのか伺います。

答車両を使った飲食事業やイベント、グッズ販売を中心に活用するとともに、子どもや児童を対象に、図書館や児童館などと協働してのイベント開催、学校単位での見学会や職業体験、効果的で積極的な情報発信を通じて市外からの来訪者誘致などを行う予定です。



日本共産党 一般質問

佐々木 あつ子

農地保全のための市の役割について

問清瀬の都市農業は、取れたての旬の野菜が直売所などで供給され、小・中学校の学校給食に地場野菜が使用されるなど、児童・生徒の食育に大きな役割を果たしている。また災害時には延焼を防ぐ防災面や雨水を吸収する機能を持ち、インフラへの負担を軽減している。

議会では、清瀬は農地が多く税収が少なくとの声がある。農地保全のために市が果たす役割は大きいが、市の意気込みを伺う。

答都市農地は本市にとって大きな魅力の一つです。その保全は、選ばれるまち清瀬を目指す上でも重要な施策であり、都市農業の多様な役割を十分に発揮できるように努めていくことが本市としての大きな役割であると考えています。



補聴器購入費の補助を

問認知症予防や高齢者の社会参加へ

の意義から、補聴器購入費補助は新年度から導入を検討している自治体を含めると26市中14自治体に及ぶ。

都は26年度までに補助を全市区町村で実施する目標を持っている。市は前倒しで導入を検討すべきだ。

答補聴器購入の補助を実施するには都の補助金を活用することが必須です。そのため、都の要件に沿った事業展開をせざるを得ず、前倒しで直ちに実施することは難しいと考えています。

命を守るためにエアコン購入費の補助を

問東京消防庁の調査では、65歳以上でエアコンを使用せず屋内での熱中症による救急搬送が多いとの報告がある。エアコンが1台もない世帯は深刻である。購入費補助を求める。

答エアコンがない世帯には、社会福祉協議会の生活福祉資金の貸付けの活用などによる設置を促しており、現在ほとんどの世帯でエアコンを保有しています。関係機関と連携しながら支援しており、現段階で市独自の購入補助制度を検討する考えはありません。



日本共産党 一般質問

香川 やすのり

鉄道車両「夢空間」について市民説明会を

問 未だに本市が多額の費用をかけて保存する事に異を唱える声を多く聞く。当初の中央公園整備の計画になった「夢空間」の設置を十分に周知せず、設置ありきで事業が進んだ事に市民は怒っている。市民に対して説明会を求める。

答 これまで市民ワークショップや中間報告会、公募市民の方や有識者から成る「夢空間」保存活用検討委員会を開催し、市民の皆さまにご意見をいただいています。工事が始まる前にも、工事説明会を開催するなど、機を捉えて市民の皆さまの声をいただく場面を設定しています。

「夢空間」の保存・活用について立ち止まるべき

問 「夢空間」保存活用検討委員会では、文化財として車両を保存し続ける事が大切であり、収益を上げる事は二の次との意見が上がった。市と検討委員会で保存活用の方性の違いを感じた。これでは市民の理解を得られないのではないか。不要不急の事業は中止にするべきだ。

答 検討委員会の場で委員より様々な意見が出たことは承知していますが、委員会としての意見をまとめた提言書には、本市の考えと異なる点はないものと認識しています。委員会からの提言書とサウンディング結果を庁内でしっかりと検討し「夢空間」保存活用方針を策定していきます。

部活動の地域移行・地域連携について

問 清瀬五中水泳部の保護者から昨年12月議会で「プールが使えらうちは使わせてほしい」と陳情があったが、全校廃止となった。市からのお知らせでは民間施設での活動は今までも同じ活動環境には程遠いなどの意見を伺った。どのような提案をしたのか伺う。

答 民間プール施設は、基本的に各学期中は週に2回程度、夏季休業日中は、週4回程度の使用ができます。このことを踏まえて、学校の年間計画や教職員の体制等との調整を図りながら、年間の練習日程を学校が作成していく予定であり、その旨を生徒や保護者にお伝えしました。



日本共産党 一般質問

穴見 れいな

放課後デイサービス利用料に市の独自助成を

問 障害児のデイサービスの利用料1ヶ月上限負担額が3万7千200円の世帯は、上限負担1ヶ月4千600円の世帯よりも利用の平均日数が少ない。保護者の所得制限により発達の機会の保障に差があってはならない。市は独自助成で利用控えの解消をはかるべきだ。

答 利用負担額は、国の考え方に基づき負担額を決定しています。障害福祉サービスの利用者負担の在り方については全国一律にすべきであり、地域や自治体間での格差があるべきではないと考え、市独自の調査や助成等は予定していません。

(株)「恵」が運営するグループホームについて

問 食費過大請求や不適切な支援で業務停止になった東久留米市の障害者グループホームが新たな法人のもとで運営されている。地域のつながりなどで、新法人によるグループホームの運営を見守り、市民である利用者が安心して暮らすために、清瀬市としてどのように取り組むか伺う。

答 当該グループホーム利用者の継続的なサービス確保のため、東久留米市や関係事業所と連携を図りながら実情を把握し、引き続き切れ目のない支援を行っていきます。また、協議会等を通じた職員同士の顔の見える関係づくりの推進に尽力していきます。

きよせボランティア・市民活動センターについて

問 築36年のセンターは移転ではなく大規模改修を検討すべきだ。移転の説明会では各活動団体から、センターの重要性、歴史、各団体の果たす役割について発言が相次いだ。創立時に市も惜しみない協力をしているセンターの意義について市の考えを伺う。

答 市民活動センターはこれまで市民活動の中間支援組織としての役割を果たしてきました。市民活動センターの存在が市内の市民活動を活性化させ、それによって異なる団体や市民が交流し、協力関係が築かれ、潤いのある市民生活の実現に結びついていると認識しています。



風・立憲・ネット 一般質問

松本 潤

市民の理解が得られる 政策過程を

問 図書館サービス基本方針（素案）のパブコメに際し、廃館について具体的に示さなかった点については、「議会の審議によって結論が導かれる事項」という答弁であったが、中央公園整備に係る臨時会では、「夢空間」は「その他工事」の扱いで、「現時点で公の場で鉄道車両に関する詳細を申し上げることは差し控える」という答弁内容であった。図書館の際は議会で審議として、「夢空間」の際は議会で詳細を出せないのはおかしくはないか。市民の理解が得られる政策過程といえるのか。

答 令和6年第1回臨時会の時点では「夢空間」の譲渡がまだ正式に発表されておらず、プレスリリースする日について慎重に事業者と協議を進めていました。リリース日前に車両についての詳細を申し上げることは相手側の信頼を失うおそれがあり、差し控えるという答弁となりました。

中央公園整備後の子どもの 安全対策について

問 「夢空間」は公園外周側にあるが、

公園周囲にはフェンスは設置されないと伺っている。子どもが保護者の死角に入り、道路に飛び出す心配もある。安全対策について伺う。

答 中央公園の整備にあたっては、鉄道車両の前にオープンスペースを整備するなど、できるだけ死角となる場所が少なくなるよう設計し、死角となる箇所には複数台の監視カメラを設置します。また、自治会などの地域の組織とも連携し、地域全体で子どもの安全対策を図っていきます。

中央公園整備後のトラブル 防止対策について

問 鉄道ファンの方は、撮影時に電車がきれいに写ることを重視し、人や物が被ることを嫌がる傾向にある。公園オープン後、ほかの方とトラブルが起きないか。対策について伺う。

答 防止対策としては、日時を指定した撮影スポットを設けて迷惑行為を抑制させることや、監視カメラなどの設置による監視体制の強化、違法行為に対して積極的に発信していくことなどが考えられます。ご利用される皆さまが気持ちよく過ごしていただけるような対策を検討します。



風・立憲・ネット 一般質問

宮原 りえ

災害対策

問 トイレカーが導入されることを歓迎するが一台なので多くの避難所ではマンホールトイレを使うことになる。学校プールが今後撤去されるが水はどうやって流すことになるのか。また、避難所運営協議会の連絡会でのノウハウの共有が有効と考える。

答 学校プール撤去後のマンホールトイレについては、各学校に配備している貯水用水そうに応急給水栓などからホースなどで水をため、そこからバケツを使用して定期的に手動で水を流すことを想定しています。

* フォトボイス展について

問 2月のフォトボイス展は清瀬市との共催で東日本大震災を振り返る貴重な機会となった。福島県でフォトボイスの活動を続ける女性や福島県から東京都に避難した女性の報告があった。市としての関わりとその成果を伺う。

答 市役所の展示スペースで東日本大震災直後から最近までの写真と声、メッセージを展示し、市民協働ルー

ムでSDGsと防災・復興の関係をテーマにシンポジウムが開催されました。本市におけるSDGsの取り組みを発表する場面もつくっていた。PRする機会となりました。

福島県出身者への医療支援 について

問 福島県出身の若者たちに、通常の数十倍の規模で「甲状腺がん」の発症が見られ、手術後に転移や再発を繰り返すケースも報告されている。甲状腺の疾病の因果関係が認められているが日本ではまだ認められていない。避難や進学・就職などで清瀬市に住む福島県出身者への検査や医療支援の状況を伺う。

答 福島県では、甲状腺検査後に生じた医療費などの経済負担に対する支援事業が行われています。国では、医療費の一部負担金の免除と保険料・保険税の免除措置など財政支援が行われているほか、各種健康保険組合なども、国の通達により同様の措置が行われているとのこと。



共に生きる 一般質問

ふせ 由女

下宿地域における交通

問 本市のはずれにある下宿地域は交通の不便な所です。今は戸建て住宅がどんどん建てられています。運動公園へのアクセスの悪さは利用者の増減にも影響します。台田団地から柳瀬川通りへ出て、新座駅へと向かうバス路線延長を提案します。

答 路線バスを運行している西武バス株式会社によると、ドライバー不足等の理由により、下宿地域への路線バス延伸は困難な状況です。一方で、デジタル技術の急速な発展により運送業界を取り巻く環境は急速に変化しており、今後の社会情勢の変化を注視していきたいと考えています。

下宿図書館の存続

問 臨時会において、元町こども図書館が当面の間、存続すると市側から発表されました。ただ、駅周辺に図書館が集中する一方で、駅から遠い下宿図書館が廃館になり、地域間格差がますます広がります。東京都福祉局が子どもの居場所に予算を付けました。図書館も対象になるので、

司書の人件費への活用を求めます。

答 東京都福祉局の補助事業は子どもの居場所創設事業のことと認識していますが、この事業の実施にあたっては様々な要件があります。図書館での実施においては補助対象要件を満たすことができないことから、この事業の活用は考えていません。

公契約条例の制定

問 自治体が発注する公共工事、業務委託等に従事する従事者の賃金・報酬下限額を設定し、自治体・受注者の責任等を契約事項に加えることを定めた条例で、行政・事業者・労働者にとって相乗効果があります。本市でも取り組んでみてはいかがでしょうか。

答 公契約条例において賃金その他の労働条件を定めることは、労使間の労働契約への介入や、条例適用の有無による労働者間の格差の懸念などがあります。労働条件や自治体間の格差が生じないように、国において法令で統一性を図りながら整備していくべき課題と考えます。



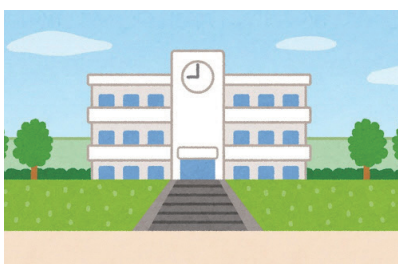
無所属の会 一般質問

石川 秀樹

新校（清瀬小）の建築費の概算は

問 3年前の答弁では、概算で46億円かかるということだった。資材価格も人件費も上昇している中で、現在では、とてもその金額では建築できないだろう。現時点での新校の建築費用はどの程度を見込んでいるか。

答 最近の建築市場データによる概算では、RC造の平米単価は55万円程度と公表されています。これを参考に、基本計画における校舎、体育館、給食調理室、学童クラブなどの計画面積約1万1千平米とした場合、消費税を含む新築の校舎、体育館の建物で約67億円程度になります。



東京23区とは財政力を比較できない

問 23区から清瀬市に転入してきた人から、区営のプールがあったのに清瀬市にはない、23区はごみも無料で

収集してくれるのに多摩地域はサービスが悪いといった意見を聞く。特別区（23区）の財政調整制度は特殊であり、比較するのに不適切である。**答** 特別区全体で見れば、区内での財政調整で財源確保が完結しており、地方交付税のような国からの財源保障には依存していない特殊な状況です。特別区と同じように行政サービスを提供することは困難ですし、比較対象としては、近隣市や多摩26市が標準と考えます。

清瀬市の財政力指数が低い理由

問 財政力指数とは、基準財政需要額を分母、基準財政収入額を分子にした数値で、当市は多摩26市で常に最下位である。当市の基準財政収入額が低いのはどんな理由か。

答 令和6年度の財政力指数は3年平均で0.658であり、市税等の自主財源では、行政需要の経費を賄えていない状態です。この理由は、基幹税目である市民税と固定資産税が少ないことに起因しています。26市平均との比較では、法人市民税、固定資産税が低いことが特徴です。



清瀬自民クラブ 一般質問

友野 和子

民と官の棲み分け 学校の部活動の今後の展望

問 部活動は、教員の働き方改革以外にも、将来にわたるスポーツや文化芸術活動に親しむといったことを地域全体で考えることや、子どもの自主性を如何に育てるかなどが大切だと考えます。民間に委託する際の費用負担の在り方について伺います。

答 費用負担のあり方の議論にあたっては、地域クラブ活動への移行に関する検討が十分に図られていることが前提となります。まずは、拠点校方式の部活動の検証や地域団体の周知啓発を進めていき、中・長期的な視点で地域クラブ活動の在り方を検討していく予定です。

民と官の棲み分け 市民参画と広報の役割

問 広報はデジタルとアナログを上手に共用する事が大事とのことですが、ホームページだけで公開している専門家と市民が公募で参加する検討委員会の記事を情報紙でとりあげて伝えてはと考えます。市報以外に今、「more-key-OS」というもう一つの情報紙があります。こちら

らの情報紙を出した経緯を伺います。
答 活字が中心である市報きよせでお伝えし切れない部分を市民の皆さまにお知らせする必要性から発行しました。市政情報や取り組んでいる事業、施策などをより深くグラフィカルに掲載することで、市民の皆さまに市政をより身近に感じていただけることを目的にしています。

民と官の棲み分け 「夢空間」の保存・活用

問 「夢空間」を含めた複合施設の運営において、文化財や文化の管理運用といった面で、歴史や文化を掘り起こして現代につなげる博物館が関わる事が大切だと考えます。課題を踏まえた上での利用方法の見通しを伺います。

答 複合施設は、図書館機能、児童館機能、市民センター機能など、機能が複合化しており、最大限のサービス提供を最小限の経費で賄えるよう、費用対効果を踏まえた検討を進めています。「夢空間」の管理については、今後策定する「夢空間」保存活用方針に沿って運用管理します。



清瀬自民クラブ 一般質問

中村 きよし

下水道管等に関する不審な 電話や訪問について

問 1月に埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故の後、市役所や水道局職員を装い、下水道管やマンホール点検の立ち合いを求める不審な電話や訪問が全国で急増していると聞きます。本市においてそのような事案が発生しているか伺います。

答 下水道課の職員を装った電話や訪問について、市民の皆さまから情報は寄せられていませんが、不審な点がありましたら、すぐに本市へお問い合わせいただけるように、引き続き注意喚起に努めていきます。

部活動に対する教員の働き 方改革について

問 清瀬市教育委員会の調査では、7割超の教員が部活動指導や運営に負担を感じていることや授業準備に支障が生じているという結果が出ています。教員が本来の業務に専念できる環境を整備し、教育の質の向上を図るためには、部活動に対する働き方改革の推進が必要と考えます。本市の取り組みを伺います。
答 市教育委員会では、各学校に「部

活動の活動方針」の作成を求め、指導内容の充実、生徒の安全面の確保、教員の長時間勤務の解消等を図ってきました。加えて、顧問の役割を担える部活動指導員の配置拡充も行いながら、教員の働き方改革に資する取り組みを進めているところです。

部活動の地域連携・地域 移行の取り組みについて

問 少子化や教員の負担増により従来の学校単位での部活動の維持が難しくなってきました。本市では「部活動の地域連携・地域移行検討委員会」において、今後の部活動について協議をされています。部活動の地域連携・地域移行の取り組みについて伺います。

答 令和7年度は、拠点校方式の実施と地域団体との連携の2つに取り組みます。拠点校部活動の在り方について、2つの部活動で試行実施をし、検討検証をしていく予定です。また、地域団体との連携では、チラシを配布して、地域にあるスポーツ団体や文化団体の周知啓発を図ります。



清瀬自民クラブ 一般質問

城野 けんいち

音楽のまちづくりについて

問 音楽のまちづくり、文化芸術振興は地域活性化に大いに寄与するものであり、現在策定を進めている第5次清瀬市長期総合計画などにも具体的に位置づける必要があると考えます。清瀬市の公共空間における音楽の捉え方と地域活性化の取り組みについて見解を伺います。

答 公共空間に音楽を取り入れることは、地域活性化に寄与すると考えます。昨年は清瀬市出身の中森明菜さんの楽曲を清瀬駅の発車メロディーにしたり、年末に市役所ロビーでコンサートを開催しました。音楽など芸術分野を活用した心地よい公共空間の実現について検討していきます。

命の教育について

問 なぜ命が大切なのか。その尊さや重さを知るためには知識としてだけでなく教育活動、体験を通じて実感する中で心が育まれるものです。清瀬市の小・中学校の命の教育について、これまで具体的にどのような取り組みを実施してきたのか伺います。

す。

答 各学校では、赤ちゃんのチカラプロジェクト等を活用した授業やハンセン病資料館などの施設の訪問など、命の尊さや重さを体験的に学ぶ工夫を行っています。また、例年1月には命の教育として各学校で取り組んできたことを発表する、いのちの教育フォーラムを実施しています。

清瀬の教育 10年間のあゆみ

問 不安定で不確実な厳しい社会情勢です。いまを生きている私たちが、これからの未来を生きる子どもたちのために何ができるのか。教育の力が試されますし、求められています。学校教育の可能性に期待をしています。この10年間の振り返り、清瀬の教育とこれからについて伺います。

答 教育の使命は、幸せな人生のつくり手と持続発展の社会の担い手を育てることだと考えます。そのためには家庭・学校・地域の三者が協働し、社会総がかりで子どもを育むことが必要です。この理念の下に政策を進めており、今後も教育における様々な課題解決に力を尽くします。



清瀬自民クラブ 一般質問

星野 玲子

おいしい給食の未来 その価値と可能性について

問 本市の給食は、自校方式の美味しさに加え、栄養士の工夫や地場野菜の活用で質を高めています。農家と連携したオリジナルメニューや特産品を活かした食育も進み、さらなる可能性も期待されます。こうした給食の価値を踏まえ、特に重要視していることを聞かしてください。

答 子どもたちが社会に出る前に、自分の健康を考え、自分の体に必要な食物をバランスよく選んで食べることでできる資質能力を高めることを目標としています。学校栄養職員を中心に、義務教育課程の9年間を通じて、各学校の特性に応じて取り組んでいます。

市民協働に必要な 対話の促進

問 市民協働の実現には行政と市民の対話が不可欠であり、自治会やコミュニティスクールの活用は地域コミュニティの強化に大きく貢献すると考えられます。地域コミュニティを基盤に、市民協働をより効果的に進め、対話を深めるための具体的な施策について伺います。

策について伺います。

答 市民の皆さまの声を直接伺うことで、実態に即した施策の実現や、市民の主體的な参加が促され、信頼関係の構築にもつながると考えます。令和7年度からは新たに（仮称）学生タウンミーティングを実施し、小から大学生までの幅広い世代の声を市長が直接伺う機会を設けます。

市民とともに進める 持続可能なまちづくり

問 清瀬市はSDGs未来都市として、持続可能なまちづくりを推進する責務があります。情報発信や環境教育の推進、実践しやすい仕組みが重要です。啓発だけでなく日常に取り入れやすい形が求められます。市民と行政の対話をどう深め、持続可能なまちづくりを実現するのか伺います。

答 SDGsについて日常生活で行うことができる具体的な取り組みの発信や、市民同士が刺激を受け合い、学び合えるよう、SDGsの活動を発表できる場を創出することなどが考えられます。市民一人一人の生活にSDGsの考え方が浸透していくよう取り組んでいます。



清瀬自民クラブ 一般質問

斉藤 まさひろ

電子黒板利用の今後の展望について

問 2月中旬に、企業のご厚意による寄附を受け、電子黒板が納品されました。国のGIGAスクール構想の下、うまく使えば確実に子どもたちのためになるのだと思います。導入したばかりではありますが、今後の展望について伺います。

答 清瀬市にとっては初めての電子黒板の導入になるため、まずは教員向けの操作研修会を予定しています。

その上で、授業のどのような場面でのように活用することが有効かなどの視点から、教育内容の充実に向けた検証を進めていきたいと考えています。

学校と家庭の役割

問 市内14校連絡協議会にて、学校と家庭の役割分担について話し合われ、今後も協議を進めていく話を聞きました。保護者と教員、どちらも働き方改革の影響を受けている方が多くいると思います。その中で教育委員会における、役割についての現在の考えを伺います。

答 学校と家庭の役割分担の意図は、家庭・学校・地域が自らに与えられた責任を全うして子どもを育む教育の実現にあります。学校として責任を持って教育を進めると同時に、家庭において大切にしたい視点も共有を図っていききたいの思いから、協議をさらに進めていく考えです。

より良い交通について

問 より良い交通のために、譲り合いの精神のようなソフト面と、道路や道路付帯設備のようなハード面は共に重要です。特に市民の方の大切な命を守るハード面は多くの要望が寄せられているとお聞きました。今後の維持管理について伺います。

答 道路環境の維持管理については適宜適切に対応していますが、限りある職員体制や予算の下、さらなる効率化を図る必要があります。デジタル技術の活用や民間委託などを進める先進自治体の事例を参考に、本市に適した道路や道路付帯設備の維持管理について、調査研究を進めます。



公明党 一般質問

やつだ じゅんじ

スポーツフェスティバルについて

問 10月14日に内山運動公園で開催されたスポーツフェスは、ニユースポーツを取り入れた大人から子どもまで気軽にスポーツに触れ合うことができ、創意工夫されたイベントでした。本市としての総括について見解を伺います。

答 この事業について本市は、市民の交流の促進や地域の活性化、健康の保持増進、スポーツに触れる機会の提供につながる取り組みと捉えています。引き続き実施主体である清瀬市体育協会との連携を図るとともに、実施の支援に努めていきたいと考えています。

夢空間プロジェクトによる地域活性化について

問 令和8年のリニューアルオープンに向けた整備中の中央公園に設置される「夢空間」は、地域の活性化に大きく寄与するものと期待感が高まっていると感じます。本市としてにぎわい創出に向けたプロモーション活動の取り組みについて見解を伺います。

答 「夢空間」に関するグッズ製作やイベントについて、今後観光協会と連携していきたいと考えています。また、イベントの告知やポスターの作成、スタンプリーなど企画検討しながら、「夢空間」をキーワードに市内の機運を盛り上げていきたいと考えています。

災害時における避難所環境整備の支援について

問 令和6年12月、内閣府防災担当より、「自治体向けの避難所に関する取組指針・ガイドライン」の改定について公表されました。この改定にあわせて、本市としての今後の取り組みについて伺います。

答 改定では、主にトイレ、食事の質、生活空間、生活用水について追記され、適切な確保について示されています。本市では令和7年度にトイレカー1台を確保し、「清瀬市災害時の女性、要配慮者等の支援のあり方委員会」での提言を踏まえて備蓄品の購入を進める予定です。



公明党 一般質問

斉藤 あき子

出生届のオンライン化について

問 マイナンバーカードを利用して市役所に行かなくても、マイナンバーから出生届が提出できるサービスがあります。導入することで、住民サービスの向上と行政の効率化につながります。オンラインでの出生届について見解を伺います。

答 マイナンバーカードを用いて、スマートフォンなどから提出ができ、市民サービスの向上につながるものと考えます。国では令和8年度を目途に全市区町村でのオンライン化を目指して準備を進めていることから、国や他の市町村の動向等を注視しつつ検討していきたいと考えています。

食品ロス削減へ
食べ残し持ち帰りについて

問 外食での食べ残り料理の持ち帰りを促進するため、消費者庁と厚労省が「食べ残し持ち帰り促進ガイドライン」を策定。食中毒の懸念から持ち帰りを禁じる店は多いため、衛生面に留意した指針となっています。飲食店にとってガイドラインが策定されたメリットについて伺います。

答 ガイドラインでは飲食店が守るべき食品衛生上の注意点や、食べ残し持ち帰りにおける利用規約を定めておくことが有効だと示しています。そのような点に留意して取り組みを進めることは、食品ロス削減はもとより、飲食店の食べ残り処理に対するコスト削減につながると考えます。

ケヤキロードギャラリーの
養子縁組について

問 24基の彫刻は市民ボランティアの方が長年清掃されていましたが、人数が減少しているとのこと。そこでイタリアのトリノではあちこちにあり雄牛の頭を形どった彫刻の水飲み場を養子にして大切に管理しています。この取り組みを参考にしたいかがでしょうか。

答 彫刻の養子縁組制度については興味深い試みであると考えます。今後詳細について研究をするともに、令和7年度に予定しているケヤキロードギャラリーのボランティアガイド育成の中で取り入れていけないか、検討していきたいと考えます。



公明党 一般質問

原 かずひろ

闇バイトから若者を守る
取り組みを

問 社会問題化している闇バイトについて、若者が巻き込まれる前に介入する仕組みが重要と考えます。求人広告に対するネットリテラシーの向上や、駅前ハローワークと連携した若者の求人・相談体制を充実させることが必要と考えますが、見解を伺います。

答 清瀬・ハローワーク就職情報室では、就労に関する独自のセミナー開催や、同じフロアに設置されている消費生活センターとの連携が期待されます。こうした関係主体との連携をこれまで以上に図りながら、若者向けの生活支援や就労支援につながる効果的な事業を検討していきます。

学校と図書館が連携した
読書環境の充実へ

問 4月より図書館の宅配サービス「おうち図書館」が開始されますが、児童・生徒たちに一番身近な学校と図書館との連携という観点から、「おうち図書館」のサービスがどのような有効活用されるのか。見解を伺います。

答 清瀬市立学校の児童・生徒には、在籍校を「おうち図書館」の受け取り、返却場所とし、便利にかつ気軽にサービスを利用できる環境を提供していきます。プレ事業として2月から一部学校でサービスを開始しており、9月には全ての市立小学校に拡充していきます。



安心の子育て支援に向け
医療証の早期発行を

問 医療証の発行に時間がかかると、医療費の負担や手続きの煩雑さから、保護者に不便が生じます。産まれて間もない子どもが急な病気や怪我にあった場合などに対応するためにも、迅速な医療証の発行を要望します。

答 現在、子どもの医療証の発行には、郵便送達に要する期間も含め、申請からおおむね3週間弱を要しています。審査のタイミミングなど、事務処理フローを見直し、より早く医療証をお届けできるよう努めるとともに、電子申請の導入など、手続の簡素化についても検討していきます。

提出された議案等の結果

第1回臨時会(2月3日)で審議された議案等の結果 (○：賛成 ×：反対)

市 長 提 出 議 案								
番 号	件 名	清瀬自民クラブ	公明党	日本共産党	風・立憲・ネット	無所属の会	共に生きる	議決結果
議案第1号	清瀬市立図書館の設置に関する住民投票条例	×	×	○	○宮原、小西 ×松本	×	○	否決

第1回定例会(3月)で審議された議案等の結果 (○：賛成 ×：反対)

市 長 提 出 議 案								
番 号	件 名	清瀬自民クラブ	公明党	日本共産党	風・立憲・ネット	無所属の会	共に生きる	議決結果
議案第2号	専決処分の報告について(令和6年度清瀬市一般会計補正予算(第9号))	○	○	○	○	○	○	承認
議案第3号	令和7年度清瀬市一般会計予算	○	○	×	○	○	×	可決
議案第4号	令和7年度清瀬市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
議案第5号	令和7年度清瀬市駐車場事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
議案第6号	令和7年度清瀬市介護保険特別会計予算	○	○	×	○	○	×	可決
議案第7号	令和7年度清瀬市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	×	可決
議案第8号	令和7年度清瀬市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
議案第9号	令和6年度清瀬市一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第10号	令和6年度清瀬市介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第11号	刑法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第12号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第13号	清瀬市住環境の整備に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	×	可決
議案第14号	清瀬市道の路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	承認
議案第15号	清瀬市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第16号	清瀬市職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第17号	清瀬市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第18号	清瀬市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第19号	清瀬市立学童クラブ条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第20号	清瀬市副市長の選任について	投票による						同意
議案第21号	清瀬市教育委員会教育長の任命について	投票による						同意
議案第22号	清瀬市教育委員会委員の任命について	投票による						同意
議案第23号	清瀬市固定資産評価審査委員会委員の選任について	投票による						同意
議案第24号	人権擁護委員の推薦について	投票による						同意

議 員 提 出 議 案								
番 号	件 名	清瀬自民クラブ	公明党	日本共産党	風・立憲・ネット	無所属の会	共に生きる	議決結果
議案第1号	高額療養費の上限引き上げ中止を求める意見書	×	×	○	○宮原、小西 ×松本	○	○	否決
議案第2号	清瀬市立図書館設置条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	×	×	○	○	○	○	否決
議案第3号	清瀬市立科山荘条例を廃止する条例を廃止する条例	×	×	○	×	×	○	否決
議案第4号	清瀬市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第5号	外務省の女性差別撤廃委員会への対応の撤回を求める意見書	×	×	○	○宮原、小西 ×松本	×	○	否決
議案第6号	訪問介護の報酬引き下げ撤回を求める意見書	×	×	○	○	×	○	否決

陳 情								
番 号	件 名	清瀬自民クラブ	公明党	日本共産党	風・立憲・ネット	無所属の会	共に生きる	議決結果
陳情第1号	市民と共に「いじめ」「自殺」「児童虐待」「犯罪」等を減らす取り組みについての陳情	×	×	×	×	×	×	不採択
陳情第2号	議会の審議において、どの議員が、どの議案に「賛成」「反対」「棄権」したかが分かるような図をつくり、自治体のホームページで公開することに関する陳情	×	×	○	○宮原、小西 ×松本	×	○	不採択
陳情第3号	図書無料宅配反対等に関する陳情	×	×	×	×	×	×	不採択

報 告								
番 号	件 名	清瀬自民クラブ	公明党	日本共産党	風・立憲・ネット	無所属の会	共に生きる	議決結果
報告第1号	委任専決事項の報告について	－	－	－	－	－	－	了承
報告第2号	令和7年度清瀬市土地開発公社事業計画及び予算	－	－	－	－	－	－	了承

※表中の会派の名称及び議員名
清瀬自民クラブ (中村 きよし・星野 玲子・斉藤 まさひろ・友野 和子・城野 けんいち・清水 ひろなが 6人)
公明党 (原 かずひろ・やつだ こうじ・鈴木 たかし 斉藤 あき子 4人)
日本共産党 (穴見 れいな・香川 やすのり・原田 ひろみ・佐々木 あつ子 4人)
風・立憲・ネット (宮原 りえ・松本 潤・小西 みか 3人)
無所属の会 (石川 秀樹 1人)
共に生きる (ふせ 由女 1人)
※()内の数字は、会派所属議員数を示したものです。ただし、清瀬自民クラブについては、森田 正英議長を除いた人数です。

市議会日誌

2・19	第1回東京たま広域資源循環組合議会 定例会
26	第1回柳泉園組合議会代表者会議
27	第1回柳泉園組合議会定例会 本会議（初日）
	各派代表者会議
	議会運営委員会
	予算特別委員会
3・4	本会議（代表・一般質問）
5	本会議（一般質問）
6	本会議（一般質問）
10	予算特別委員会（書面）
	予算特別委員会
11	各派代表者会議
12	予算特別委員会
13	総務文教常任委員会
17	福祉保健常任委員会
18	建設環境常任委員会
	各派代表者会議
	議会運営委員会
27	本会議（最終日）
	各派代表者会議
4・17	第91回関東市議会議長会定期総会
21	東京都市議会議長会臨時総会
24	議会運営委員会

第2回定例会の開会予定

令和7年清瀬市議会第2回定例会を6月6日（金）から26日（木）まで、会期21日間にわたり開会する予定です。

◇日程（案）

6・6	本会議（初日）
10	本会議（一般質問）
11	本会議（一般質問）
12	本会議（一般質問）
16	総務文教常任委員会
17	福祉保健常任委員会
18	建設環境常任委員会
26	議会運営委員会 本会議（最終日）



中里地域に咲くカタクリ

手話通訳者での傍聴ができます

希望される方はあらかじめ議会事務局へ下記FAX番号宛てにお問い合わせください。
また、傍聴席には、難聴者の聞こえを支援するヒアリングループの設備があります。ご希望の方へレシーバーの貸し出しをしています。

用語の解説

- ***就学支援シート**…就学に当たって、保護者や就学前施設から小学校に伝えておきたいことなどが記入できるもの。
- ***学校生活支援シート**…小学校入学後、本人や保護者のニーズに応じて作成される、個別的教育支援計画。
- ***サウンディング**…事業の発案・検討段階において、民間事業と対話し、情報収集を行う手法。
- ***フォトボイス**…写真と声、メッセージを組み合わせることで、個人の思いや社会の課題を発信する参加型の手法。
- ***財政力指数**…地方公共団体の財政力を示す指数。1を超える団体は財源に余裕があるといえる。
- ***基準財政需要額**…各地方公共団体が合理的かつ妥当な水準における行政サービスを行った場合に必要とされる経費を一定の方法によって算定した額のこと。
- ***基準財政収入額**…各地方公共団体の財政力を合理的に測定するために、標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の方法によって算定した額のこと。
- ***拠点校方式**…在籍校に希望する部活動がない場合に参加を希望する生徒を、拠点校の学校が受け入れる方式のこと。
- ***SDGs未来都市**…経済、社会、環境の3側面における新しい価値の創出を通して、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市、地域が選出されるもの。
- ***GIGAスクール構想**…1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、ICTを活用した個別最適な学びを実現する取り組み。
- ***ニュースポーツ**…運動能力にかかわらず、誰もが楽しめる、参加しやすいスポーツのこと。

市議会はいつでも傍聴でき、録画映像のインターネット配信も行っています。
右のQRコードを読み取っていただくと配信ページが開けます。
会議録は市のホームページ（<https://www.city.kiyose.lg.jp/>）からご覧いただけます。
きよせ市議会だよりの音訊CDを作成しています。ご希望の方は、議会事務局へご連絡をください。



問い合わせ

清瀬市議会事務局

清瀬市中里5-842 TEL (042) 497-2566 (直通) FAX (042) 495-1189

清瀬市ホームページ <https://www.city.kiyose.lg.jp/>